

古武雄 vs 中島青磁

江戸のモダニズムと現代のモダニズム

日時 10月11日(土) - 12月8日(月) 会場 陽光美術館



本展示会では、白化粧や鉄絵緑彩をはじめとした、多彩な技法が光る「古武雄」の名品を集め、「江戸のモダニズム」としての視点からその美を再評価します。あわせて、その古武雄に深い愛情を寄せ、「現代のモダニズム」とも言うべき独自の青磁世界を確立された、武雄市出身の人間国宝・故中島宏氏の代表作も展示します。

武雄市民限定 /

1,000名を無料招待

武雄の地で培われた焼物の魅力を皆様にも満喫していただくために武雄市民の方を無料招待いたします。ご来場の際には、受付にて自身が武雄市民であると証明できるもの（マイナンバーカード、運転免許証、保険証等）をご提示ください。たくさんの方々のご来場をお待ちしております。

※予定人数に達し次第、終了いたします。予めご了承ください。なお、終了した場合には観光協会ホームページにてお知らせいたします。

主催 武雄市観光協会 問い合わせ先 (一財) 武雄市観光協会 TEL: 0954-23-7766 (公財) 陽光美術館 TEL: 0954-20-1187

この秋、お気に入りの
焼き物を見つけに
出かけてみませんか？

10月から11月にかけて、今回紹介できなかった窯元でも窯開きが開催されます。また、右ページで紹介した窯元が武雄温泉駅南口駅前広場に一堂に会する武雄セラ&アートフェスも右記の日程で開催されます。ぜひお出かけください！

武雄
秋の窯びらき

詳細は
観光協会
HPへ！



武雄セラ&アートフェス

焼き物の販売のほか焼き物ガチャガチャや佐賀大学芸術地域デザイン学部によるワークショップも開催されます。

日時 10月11日(土) - 13日(月・祝) 会場 武雄温泉駅南口駅前広場

武雄に息づく

現代の焼き物

市内では、陶器の温かみや磁器の美しさなど、各窯元で特色ある焼き物が作られています。こうした多彩な窯元の活動はまちの文化を支える大きな力となっています。

知温
新故



綿島康浩陶工房

三島・刷毛・粉引を中心とした技法を使い、日常使いの器を制作しています。刻印によって生み出される美しい釉調の変化を味わってください。

📍 若木町川古 6967-2 ☎ 0954-33-0106



康雲窯

唐津焼の伝統を継承しつつ、上絵・赤絵などをあしらって華やかな特色を取り入れながら、「新しい武雄の焼物」を目指しています。

📍 武内町梅野乙 13649 ☎ 0954-27-2745



東馬窯

武雄で採れる天然原料を使って作陶しています。梅華皮と蛇蝎という模様が特徴です。

📍 山内町鳥海 21096-1 ☎ 0954-45-3308



宝寿窯

流木など自然界の模様や現象を器のデザインとして表現しています。

📍 山内町宮野 1947 ☎ 080-7320-2979



小山路窯

伝統の鉄絵に新しく和紙染技法を加えた作品を中心に、最近ではアクセサリなども制作しています。

📍 東川登町永野 6766-1 ☎ 0954-23-2318



明山窯

面取りや櫛刷毛目、タタラづくりなどの技法を主に作陶しています。伝統的な技術を守りつつ、新たな試みに挑戦しています。

📍 武内町梅野乙 12471 ☎ 0954-27-3253

陶器

花瓶を主に作っています。一品物ですので、1つひとつの作品に違った良さがあります。

📍 山内町大野 8915-1 ☎ 090-5293-8036



浩充アート696

磁器



雅人工房

使って楽しい食器づくりを念頭に伝統から現代的な表現までさまざまな技法を活かし、作陶に励んでいます。

📍 山内町宮野 23832-1 ☎ 090-9729-4617